



8月21日 夏休み 元気に登校日

8月21日(水)は夏休み中の登校日でした。元気に登校し、久しぶりに顔を合わせて楽しそうに近況を報告しあう姿を見てとても嬉しく思いました。この日1年生はジュニア金沢検定を、2年生はPプラス検定(情報活用カテスト)を受けました。3年生は2学期に行われるワンダフルシアターに向けての準備を進めました。夏休みもあと残りわずかとなりました。まだまだ暑い日が続きます。安全には十分気をつけて、充実した過ごし方を心がけてください。そして8月29日(木)に全員そろって2学期始業式を迎えましょう。

8月13日 全国中学校体育大会壮行式

8月13日(火)に金沢歌劇座で、全国中学校体育大会(全中)に出場する金沢市選手団の結団壮行式が行われました。金沢市から全中に出場するのは12競技に114人。犀生中学校からはソフトテニス競技の男子個人ペア福島将真さん・佐藤巖さん、女子個人ペアの寺口明里さん・吉村うららさん、柔道競技の釜谷爽太郎さんが出場します。壮行式では、佐藤さんは選手を代表して金沢こどもかがやき宣言を唱和し、福島さんはソフトテニス競技を、釜谷さんは柔道競技を代表して誓いの言葉を述べました。大きな舞台で思う存分力を発揮してください。



8月20日 全中大会開幕

8月20日城北テニスコートで全中ソフトテニス大会が開催されました。全国の予選を勝ち抜き集まった選手を相手に、これまでの練習の成果を存分に発揮して戦いました。3年生にとってはこれが中学校生活最後の公式戦になりました。本当にお疲れ様でした。

柔道大会男子個人戦は23日に長野県で開催されます。健闘をお祈りしています。頑張ってください。



8月2日 石川県中学生サイエンスチャレンジ銀賞

8月2日石川県中学生サイエンスチャレンジが開催され、犀生中学校から、2年生の五十島健さん、上田琉斗さん、河津快成さんの3人のチームが出場しました。県内の54校79チームが参加し、みごと銀賞に輝きました。



8月9日 中学生からのメッセージ大会優良賞

8月9日中学生からのメッセージ大会が行われました。金沢市内の中学校から代表1名が参加し、それぞれの思いを伝えました。犀生中学校からは、3年生の馬場結楽さんが「どうして勉強するのか」というテーマのメッセージで出場しました。馬場さんは「限られた人生の中で、自分がやりたいことをして自分らしく生きるために勉強する」と語りました。みなさんもこのテーマについて考えて、自分なりの答えを見つけてみてください。

8月6日 平和記念式典

広島に原爆が投下されて79年となる8月6日、広島市の平和公園では、平和記念式典が開かれました。式典の様子をテレビ等で見た人もたくさんいると思います。広島市では、平成8年より、子どもたち一人一人に被爆体験を確かに継承し、世界恒久平和の実現に貢献できるように「こどもピースサミット」を実施しています。毎年、募集した市内の6年生の意見作文をもとに選ばれた20名により、「平和の意見発表会」を行い、その中のこども代表2名が8月6日の平和記念式典で「平和への誓い」を世界に発信しています。今年の誓いを以下に紹介します。

今年の「平和への誓い」にあるように、私たちにできる平和への第1歩として、家族や学級など身近なところから平和へに向けての行動を考え、実践してほしい。相手の気持ちに寄り添い相手の立場に立って考える「思いやる心」と「共感する心」を持ってほしいと思います。

「平和への誓い」

目を閉じて想像してください。

緑豊かで美しいまち。人でにぎわう商店街。まちにあふれるたくさんの笑顔。
79年前の広島には、今と変わらない色鮮やかな日常がありました。



昭和20年(1945年)8月6日 午前8時15分。

「ドーン!」という鼓膜が破れるほどの大きな音。

立ち昇る黒味がかかった朱色の雲。

人も草木も焼かれ、助けを求める声と絶望の涙で、まちは埋め尽くされました。

ある被爆者は言います。あの時の広島は「地獄」だったと。

原子爆弾は、色鮮やかな日常を奪い、広島を灰色の世界へと変えてしまったのです。

被爆者である私の曾祖母は、当時の様子を語ろうとはしませんでした。

言葉にすることさえつらく悲しい記憶は、79年経った今でも多くの被爆者を苦しめ続けています。

今もなお、世界では戦争が続いています。

79年前と同じように、生きたくても生きることができなかった人たち、

明日を共に過ごすはずだった人を失った人たちが、この世界のどこかにいるのです。

本当にこのままでよいのでしょうか。

願うだけでは、平和はおとずれません。

色鮮やかな日常を守り、平和をつくっていくのは私たちです。

一人一人が相手の話をよく聞くこと。

「違い」を「良さ」と捉え、自分の考えを見直すこと。

仲間と協力し、一つのことを成し遂げること。

私たちにもできる平和への一歩です。



さあ、ヒロシマを共に学び、感じましょう。

平和記念資料館を見学し、被爆者の言葉に触れてください。

そして、家族や友達と平和の尊さや命の重みについて語り合しましょう。

世界を変える平和への一歩を今、踏み出します。

令和6年(2024年)8月6日 こども代表